

目次

[概要](#)

[オーディオはなぜ G.722.1 Annex C を使用するとき歪みますか。](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence ISDN GW 3241、Cisco TelePresence ISDN GW MSE 8321、Cisco TelePresence IP GW 3510、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

Q. G.722.1 Annex C を使用するときオーディオが歪む理由

A. G.722.1 Annex C のための ITU 仕様は RTP タイムスタンプ クロックが 32KHz であるはずで、特定のバイト順があるはずであることを示します。多くのエンドポイントは 4 つの可能性のある オプションを作成する 8KHz タイムスタンプ クロックや交換されたバイト順を使用します:

- 32KHz RTP クロック、ITU バイト順 (ITU spec)
- 32KHz RTP クロック、交換されたバイト順
- 8KHz RTP クロック、ITU バイト順
- 8KHz RTP クロック、交換されたバイト順

TANDBERG Codian 製品は各エンドポイントに送信される G.722.1C の正しいオプションがデコードし、Codian ユニットが正しくオーディオをデコードするようにするためのものであるようにエンドポイントのデータベースをこれらのエンドポイントのためのソフトウェアリビジョン備え。エンドポイントがデータベースにないし、未知ソフトウェアリビジョンを使用していなければ、G.722.1C の間違ったフレーバーは送信されるかもしれません。これによりオーディオは歪められて鳴りません場合があります。また、時には完全に聞こえなくなることがあります。

G.722.1C における問題の場合に、TANDBERG は TANDBERG Codian ユニットのために利用可能なソフトウェアバージョンにアップグレードすることを推奨します。これに最新 インターオペラビリティ 表があります。問題が持続する場合、ユニットおよび連絡先 TANDBERG カスタマー サポートの G.722.1C をディセーブルにすることを試みて下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)